

平成 29 年度再評価対象事業箇所 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	地すべり対策事業 (矢筈地区) 事業主体：県 事業地：武雄市	矢筈地区は、佐賀県南部の武雄市西川登町に位置し、昭和36年に地すべり防止区域に指定されている。 保全対象は人家52戸、西川登小学校矢筈分校、矢筈コミュニティセンターである。 当該地区は、大雨等により民家、公共施設及び山林等に亀裂、陥没が生じ昭和40年から対策工を実施してきており、平成16年9月の台風により新たな亀裂が確認されたことから平成19年度から事業再開し、対策工事を行ってきた。	工期：H19～32年 全体事業費：2.0億円 対策ブロック：5箇所(P,K,-B,H,Qブロック) 地下水排除工(横ボーリング工)：4箇所(P,K,-B,Qブロック) 抑止工(アンカー工、法枠工)：3箇所(P,-B,Qブロック) 井桁擁壁工：1箇所(Hブロック) 水路工：1箇所(Pブロック)	総事業費：15.25億円 全体事業費(今回再開)：2.0億円 H28年度迄：1.62億円 進捗率：81.0% 対策済ブロック：5箇所 地下水排除工(横ボーリング工)：4箇所(P,K,-B,Qブロック) 抑止工(アンカー工、法枠工)：2箇所(P,-Bブロック) Qブロックは観測結果によって必要性を判断 井桁擁壁工：1箇所(Hブロック) 水路工：1箇所(Pブロック)	事業採択時と比較して大きな変化はみられない。 【保全対象】 ・人家52戸 ・西川登小学校 ・地域避難所(矢筈コミュニティセンター) ・避難路(市道)	事業採択時と比較して大きな変化はみられない。 B/C=1.48	無し	事業開始(再開)より10年が経過	継続 平成29年度まで対策工を実施し、地下水排除工を実施した地すべりブロック(2ブロック)において、地下水位状況や地すべり滑動状況を確認する目的で地すべり動態観測を行い、地すべりの挙動がないことを確認するため事業の継続が必要である。	

